



親子遠足ありがとうございました

4月の親子遠足ではたくさんのご参加ありがとうございました。新入園も在園の家庭もみなさんで集うことができ楽しい時間になりました。どんぐり保育園は入園式がありませんが、この親子遠足と5月16日に開催される保護者会の総会を入園式の代わりに行事としています。ぜひ総会にもご参加ください。今年も様々な行事を通して大人も子どもも仲間の輪を広げていってくださいね。よろしく願いいたします。

仲間の中で育つ子どもたち ～自分たちで決める～

毎日、給食の時間の前に話し合いを続けている4歳児のAちゃんとBちゃん。話し合いは給食を一緒に食べる保育士を巡ってです。昨年までAちゃんはCさんと給食を食べることが習慣でしたが、

Bちゃん「BちゃんもCさんとたべたい」

Aちゃん「ダメ、わたしがCさんとたべてるもん」

Bちゃん「Aちゃんばかりずるい」と主張しました。

その主張に泣いて怒ったAちゃん。

その後も毎日BちゃんがAちゃんに交渉にきます。Aちゃんの気持ちは簡単には動きません。Bちゃんも今まで譲ってばかりいたので諦めません。そして、毎日交渉しているうちに2人で「じゃあ、1と2にしよう」(Aが食べる日とBが食べる日)と決めたようです。今までAちゃんは自分の主張を曲げたり、折り合いをつけたりすることが難しかったですが、この間のやりとりで、Aちゃんが仲間との中で気持ちに折り合いをつけられたことは大きな一歩です。また、Bちゃんも間違っていると思ったことはしっかり主張しました。子どもはこのように思いを出し、時にはぶつかり合い、対話をしながら育ち合っていくのだと思います。

2人で順番を決めてからは毎日給食前になると「きょうはAちゃんの日だよ」と確認し合っています。時には順番が分からなくなり、ぶつかり合うこともまだまだありますが、その度に確認しています。その丁寧な子ども同士対話が大事です。その時間を大人が「〇〇だね。〇〇にしよう。」と整理してしまえば簡単かもしれませんが、子どもの意思決定にはつながりません。だからこそ、子ども同士の対話の時間を園では大事にしています。実際その時のCさんも間に入りすぎず、子どもたちが自分たちで決められるよう待つことを大事に関わっていました。

幼児期のこのような対話だけでなく、乳児期には言葉にならない思いを大人が丁寧に汲み取り、言葉にして返してあげることも大事です。忙しい毎日ですが、子どもの声にふと立ち止まり、子どもとの対話の時間を大切にしていきたいですね。

そして、その中で子どもらしい情感にあふれたつぶやきがありましたらぜひ口頭詩へ↓

今年も口頭詩を大募集します！！

昨年も口頭詩を集めて頂きありがとうございました。年度末の口頭詩集に載せられなかった方々、大変申し訳ございませんでした。未掲載の分はおたより集と共にしいの実会の総会にてお配りいたします。今しばらくお待ちくださいませ。口頭詩は一年間募集します。玄関ホワイトボードに紙と提出用封筒がありますので、いつでもご記入ください。毎年、年度末に提出して下さった方全員の口頭詩を詩集にして全家庭に配布しています。今年もちょっと腰をかがめて、子どものお話に耳を傾けてみてください。